

2017年10月10日

京成バス株式会社

## 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会

# 特別仕様ナンバープレートを全車両に導入します

10月10日(火)より 一般路線バス・高速バス 全 844 両 に順次導入

京成バス（本社：千葉県市川市、社長：齋藤 隆）では、10月10日(火)より国土交通省から交付される「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 特別仕様ナンバープレート」を、一般路線バスおよび高速バス全車両に導入します。



このナンバープレートは、同大会開催を記念して国土交通省から交付されるもので、2017年1月に国土交通省が背景デザインを一般公募し、デザイン選考委員会の審査を経て最終デザインが決定されました。

このたび国土交通省から交付されるナンバープレートは「図柄入りナンバー(寄付金付き)」「エンブレム付きナンバー」の2種類があり、このうち京成バスでは大会開催に必要な交通サービスの改善（バス・タクシーのバリアフリー化等）に充てるための寄付を兼ねて、「図柄入りナンバー」を全 844 両（2017年9月30日現在、一般路線バス全 673 両、高速バス全 171 両）に導入します。

- |             |  |
|-------------|--|
| 1. 導入スケジュール | 2017年10月10日(火) 交付・導入開始<br>2018年3月末日までに導入完了予定       |
| 2. 導入車両数    | 全 844 両(一般路線バス 673 両、高速バス 171 両)<br>(2017年9月30日現在) |



図柄入りナンバー(寄付金付き)

(出展：国土交通省 HP より)

以上